OSS
Operation＆Space・Solutions

CYCLE RACK	
保管用	保証書付

垂直2段式駐輪機

取扱説明書

ARS20/30型
ATG-2A/AB型

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
・取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
・ご使用前に「安全上のご注意」（2～3ページ）を必ずお読みください。
・保証書は「お買い上げ日、販売会社名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管ください。
・本書に使用している写真・イラストは、説明イメージのため、実際とは多少異なります。

もくじ

表紙 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
ご使用前の点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
修理を依頼される前に・・・・・・・・・・・・・・6
基本的な使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

OSSホームページ　https://www.os-solutions.co.jp/

●駐輪機は、正しく使わなければ、けがをする危険があります。
●駐輪機は、自転車を出し入れする際、使用方法を誤ると危険な現象が起こるので、十分注意してお使いください。
●この取扱説明書に書かれた使い方以外の使用方法や、注意事項を守らずに事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています

⚠ **警告**　「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。

⚠ **注意**　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています（次は図記号の例です）

禁止　してはいけない内容です。

強制　実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

使用前に

禁止

自転車の収納以外には絶対に使用しないで下さい

この製品は、自転車を駐輪するために作られた「駐輪機」です。使い方を誤ったり、用途以外の使い方をしますと、重大な事故が生じる恐れがあります。

禁止

修理・分解・改造は絶対に行わないで下さい

重大な事故を起こす恐れがあります。

強制

上段20：15～22kg、30：23～30kg、下段35kg以下（40kg以下：ｵﾌﾟｼｮﾝ使用時）の範囲内で使用して下さい

自転車の重量が上記範囲外の場合は、使用しないで下さい。

禁止

自転車の収納以外で、タイヤ受けを動かさないで下さい

触った途端に勢いよく上がり、重大な事故につながる恐れがあります。

禁止

駐輪機で遊ばないで下さい小さなお子様から目を離さないで下さい

つまづいたり、周囲の危険な物に気付かない事が原因で、重大な事故につながる恐れがあります。

禁止

ラックの上に登ったり、ぶら下がったりしないで下さい

重大な事故・故障を起こす恐れがあります。

使用するとき

強制

ラックを操作する時の姿勢を守って下さい

最下段のラックを上げる際に、操作ミス等でラックが勢いよく上がる恐れがあります。
レバーを押す際は、ラックの上面に、顔や体が掛からない姿勢で操作して下さい。

最上段のラックを下げる際に、ラックが勢いよく下がる恐れがあります。
レバーを押す際は、ラックの下面に、顔や体が入らない姿勢で操作して下さい。

強制

自転車を降ろす際には、十分に下段をひろげ、確実にロックが掛かる位置まで下げてください

ロックが掛かっていない状態で、自転車を降ろすと、ラックが勢いよく上がってしまいます。

強制

自転車を乗せる際には、確実にロックが掛かる位置まで下げてください

ロックが掛かっていない状態では、ラックが自然に上昇しますので、無理に入れないで下さい。

強制

自転車を乗せた際には、確実にロックが掛かる位置まで上げて下さい

ロックが掛かっていない状態では、重みで自然にラックが下がり危険です。

強制

荷物や子供を乗せたまま、自転車の出し入れを行わないで下さい

自転車の転倒、荷物や子供の落下が起こり、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意

使用前に

強制

上段ラックは、常に上げておいて下さい

自転車の出し入れを行う時以外は、常に上げた状態にしておいて下さい。

使用前するとき

強制

最上段、最下段のロックが掛からないとき

ラックを昇降させる際のレバーは押す事によりロックが解除されます。握ったまま操作をされるとロックが掛かりません。ラックが動き出したらレバーを押さずに操作をして下さい。

強制

自転車を入れる際には、一気に前輪まで乗せて下さい

自転車がラックへ乗らずにバックしますと、自転車を出す操作と誤認し、ラックが上昇します。
故障ではございませんので、ラックをもう一度最下段まで降ろして下さい。

強制

必ず前輪をレバーに当てて、ラックから降ろして下さい

レバーに当てずに降ろすとオートリターンしません。
もう一度レバーに前輪を当て直し、ラックを上昇させて下さい。

禁止

自転車スタンドは、上げた状態でラックに乗せて下さい

スタンドを上げたままラックに収納できる製品です。サイドスタンドの自転車でも、下段の自転車を動かす際の障害になる恐れがありますので、スタンドを上げて下さい。

強制

誤って、自転車を途中で降ろしてしまった場合の操作

次に使用する時に上段ラックが途中から下がらない状態に成りますので「修理を依頼される前に（P．６）」に従って復旧して下さい。

使用するとき：下段

強制

周辺にスペースがある事を確認し、操作はゆっくりと手で左右に動かして下さい。

無理に押すと、自転車の破損、駐輪機の破損につながります。

強制

下段スライドが重いとき

レール上面凹溝の清掃をお願いします。
また、「修理を依頼される前に（P．６）」に従って確認をお願いします。

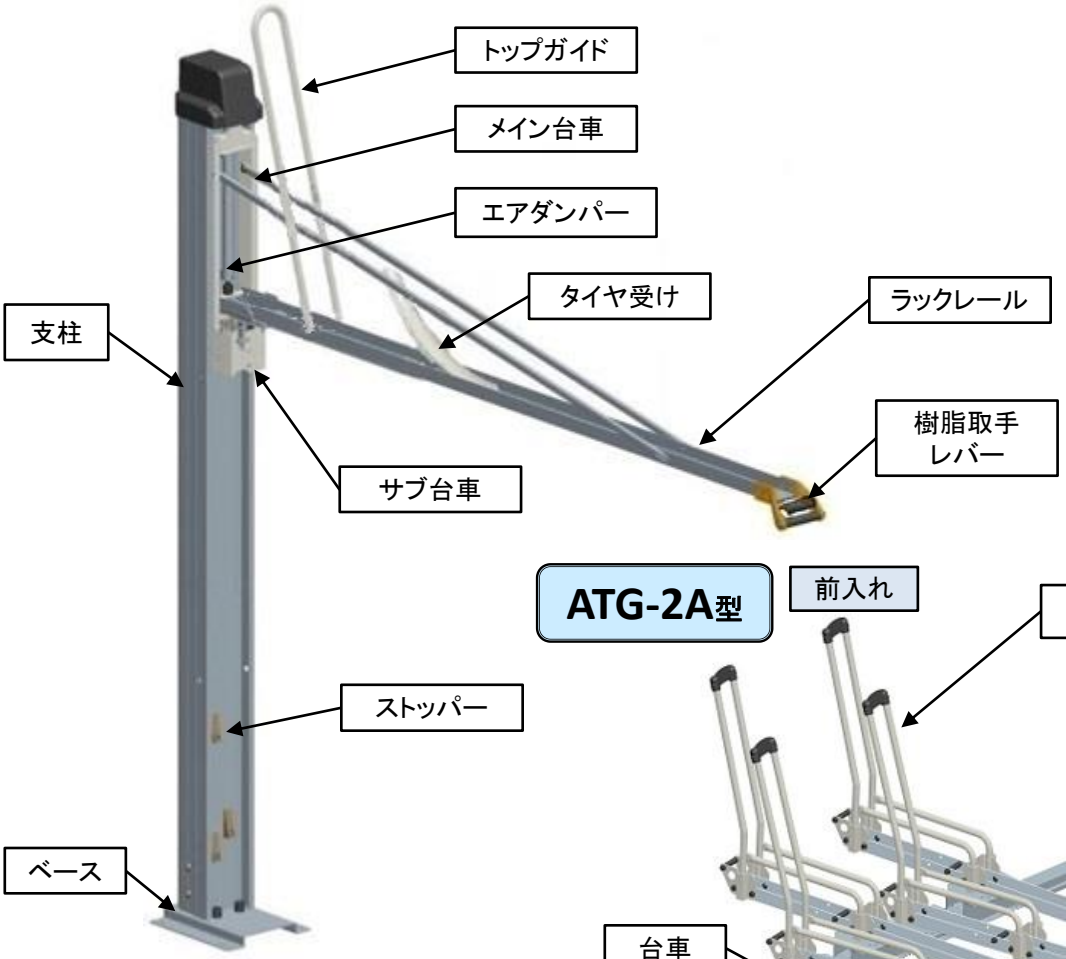
強制

上段ラックが最上段以外にある時には、注意が必要です。

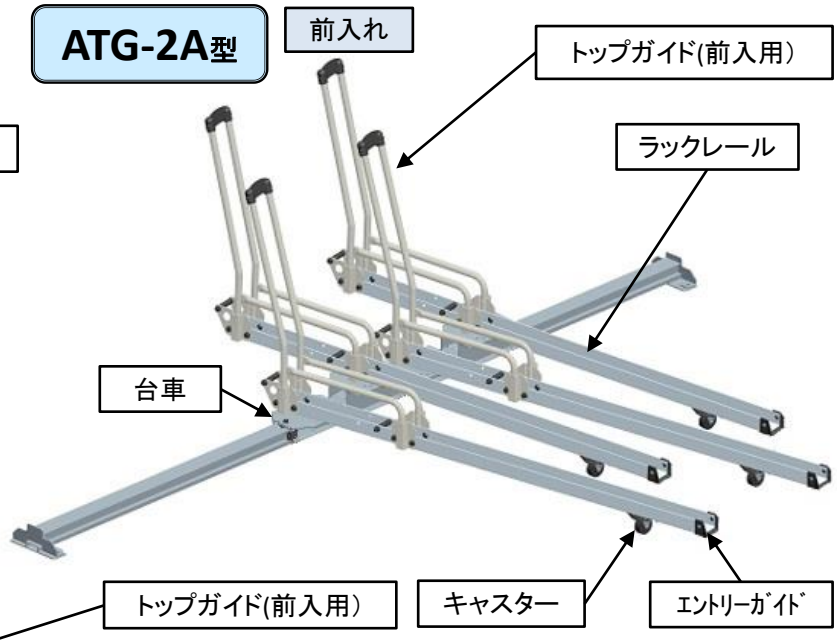
スペースがあるのに動かない時は、上段ラックが下がったまま放置や、下段の中間ストッパーがある事があります。

各部のなまえ

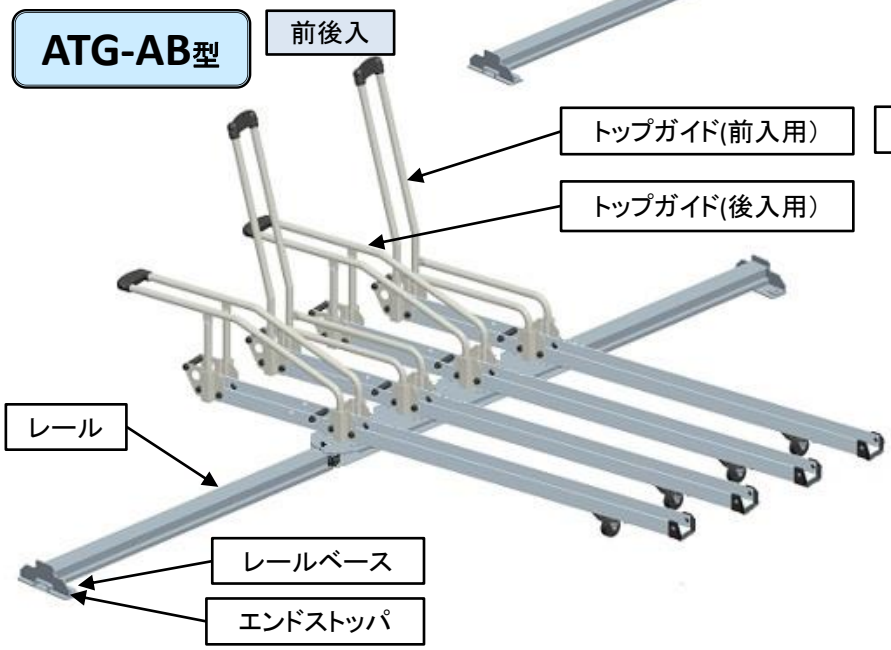
ARS20/30型



ATG-2A型



ATG-AB型



ご使用前の点検

1. 日常点検

駐輪機をお使いになる前には、管理者が下記点検を行い、異常がない事を確認して下さい。
また、異常に対して処置できる事は、正しい処置をした後に使用下さい。

上下にスムーズに動くか確認します

スムーズに動かない場合は、下記原因が考えられますので、原因の対処をして下さい。

ポスト両脇の溝をローラが通ります。
その溝にゴミが付着している場合

ポスト両脇の溝をウエスなどで
上から下まで拭いてください。

レバーがスムーズに動くか確認します

スムーズに動かない場合は、下記原因が考えられますので、該当する原因の対処をして下さい。

バネの外れ、丸棒の変形、ネジの締め過ぎ
ゴミが付着している場合

ゴミが付着している場合は清掃をお願いします。
部品の外れ・破損時は、製品を使用禁止とし、販売会社への連絡をお願いします。

その他の故障

「修理を依頼される前に」のページを参照下さい

2. 定期点検

日常点検に加え導入時点、毎月の定期点検の実施をお願いします。
※弊社メンテナンス契約を実施して頂けましたら点検を請けたまわります。

上段ラックのボルト増し締め

上段ラックにフラツキを感じた場合

定期的な増し締めをお願いします。

メイン台車の上部ナット

M6ナットを、スパナで締めて下さい

六角スパナ（10）

メイン台車の下部ナット

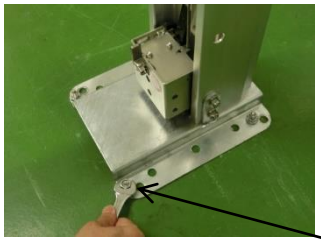
外側ボルトを六角レンチで固定して、M6ナットをスパナで締めて下さい

六角スパナ（10）
六角レンチ（5）

アンカーボルト増し締め

柱にフラツキを感じた場合

定期的な増し締めをお願いします。



M10ナットを、スパナで締めて下さい

六角スパナ（14）

アンカーボルトを増し締めしても、柱のフラツキが止まらない時は、製品を使用禁止とし、販売会社への連絡をお願いします。

修理を依頼される前に

上段ラックが途中から下まで下がらない！

サブ台車が中間のストッパーで止まっています
上段ラックに体重をかける様にして、一番下まで押下げます
最下段まで下げ、“カチャ”と音がしてロック出来れば、復旧の完了です

①体重をかける様にして押下げます

ポイント

レバーでロック解除後、写真の位置で行えば、下げ易いです。

②最下段で“カチャ”と音がすれば復旧の完了です

ポイント

押し込んだ後は、ゆっくりと手を離して下さい。
再び、浮き上がって来た時はロックが不完全ですので
再度、押し込みをお願いします

③レバーを押して、ラックを一番上まで上げてください

自転車を取り出す時に、一番下まで下げずに誤って自転車を出す事でこの状態になりますので、正しい使用方法を守って下さい。

下段スライドが重い！

レールにゴミや汚れがあれば、取り除いて下さい

ローラを交換して下さい
①樹脂が割れ、回転不良が起こった時
②外れて無くなっていた時

下段スライドの自転車がふらつく！

台車とフレームを止めているボルト、ガイドを固定しているボルトを増し締めして下さい

曲がったガイド、折れたカイドは交換して下さい

上段ラックが上がったまま下がらない！

サブ台車が一番上まで上がっています
自転車がない状態ですが、機械は自転車がある状態にセットされていますので、自転車がない状態にリセットします

①一人がレバーでロックを解除します：2人作業時

ポイント
どうしても1人で行う時

写真の位置の丸棒を、取っ手がある前側に引き、ロックを解除します

②もう一人が、体重をかける様にして押下げます
ラックが下がりかけたら、一人はレバーを放し
ロックが掛かる状態にします

ポイント
どうしても1人で行う時

少し下がりましたらロックは解除されていますので、ロックの手を放し、両手で下げて下さい

③最下段で“カチャ”と音がすれば復旧の完了です

④レバーを押して、ラックを一番上まで上げてください

自転車を取り出す時に、一番下まで下げずに中間位置で自転車を取り出すのは危険な行為です。
安全に使用して頂くために、正しい使用方法を守って下さい。

その他の症状！

レバーが引けない・戻らない
動かすと“ギーギー”音がする
スムーズな昇降が出来ない
最上段・最下段でロックできない等

警告 **製品の使用を止めて下さい**

禁止

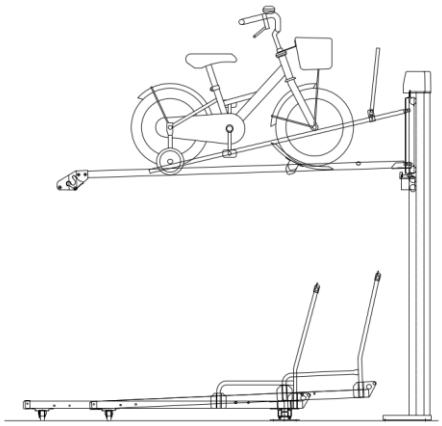
本製品に何らかの障害が発生している可能性があります。
管理者へご連絡をお願いします。

自転車収納基準

	ARS20		ARS30	
	前入	後入	前入	後入
全長（㎜）	1900以下		1900以下	
全幅（㎜）	600以下		600以下	
全高（㎜）	1150以下		1150以下	
タイヤサイズ（in）	22～28	24～27	22～28	24～27
タイヤ幅（㎜）	32～55		32～55	
重量（kg）	15～22		23～30	
変速機付き（外装式）自転車	○	×	○	×
補助輪付き自転車	×		×	

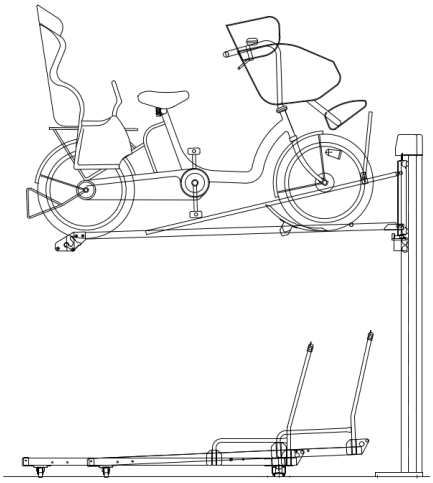
禁止

補助輪付き、軽い自転車やタイヤの小さい自転車は乗せないで下さい



禁止

適合外の電動アシスト、子乗せ自転車の重い自転車は乗せないで下さい



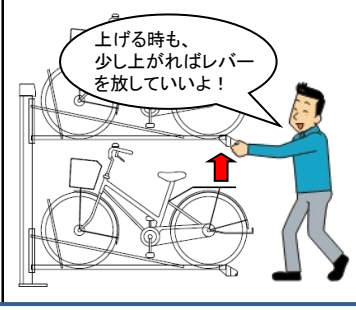
自転車の乗せ方

★「後入」シールは、必ず自転車を後ろ向きで入れて下さい！

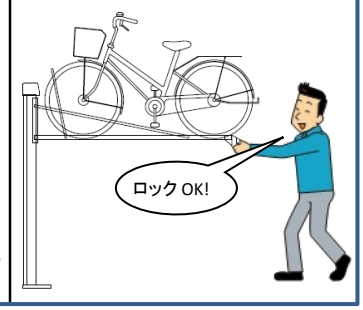
レバーを押して、ラックレールを一番下まで確実に下げて下さい

自転車を乗せて、奥まで押し込んで下さい

レバーを押して、ラックレールを持ち上げて下さい

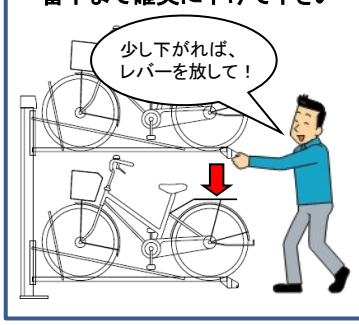


一番上まで上げて、ロックが掛かった事を確認下さい



自転車の降ろし方

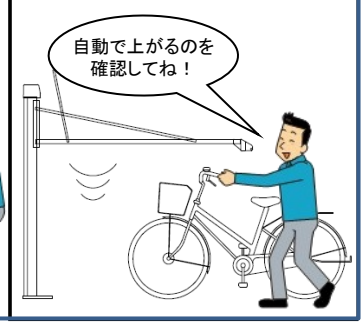
レバーを押して、ラックレールを一番下まで確実に下げて下さい



カチャと音がしてロックが掛かる一番下まで確実に下げて下さい

自転車を降す際には、必ず前輪をレバーに当てて下さい

自動でラックレールが上がります



アジャスタウエイト：上段オプション

★基準よりも軽い自転車を保管する場合、アジャスタウェイトを装着する事で、下記変更ができます。

	型式	重量
1	ARS20	15～22kg
2	ARS30	23～30kg

型式	重量
20＋ウェイト	8～15kg
30＋ウェイト	16～23kg

基本的な使い方（ATG）

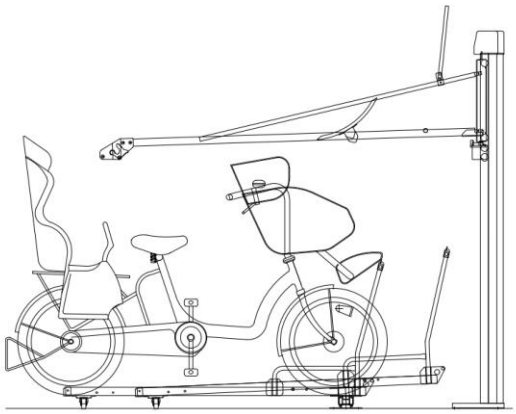
自転車収納基準

	ATG	
	前入	後入
全長（㎜）	1900以下	
全幅（㎜）	600以下	
全高（㎜）	注① 1150以下	
タイヤサイズ（in）	14～28	24～28
タイヤ幅（㎜）	32～55	
重量（kg）	注② 35以下	
変速機付き（外装式）自転車	○	×
補助輪付き自転車	△	×

注①：ATGのみの場合は無制限

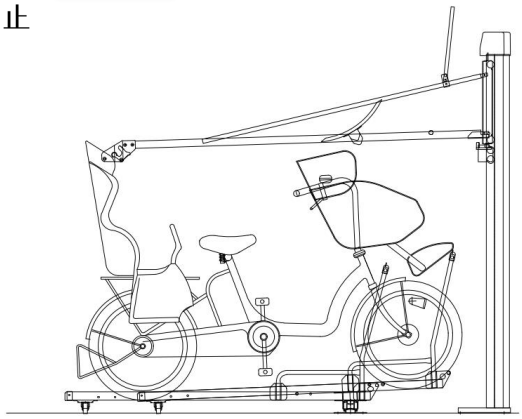
注②：オプション（ダブルキャスター）で40kgまで可

通路側



禁止

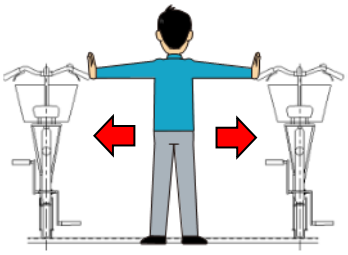
奥側



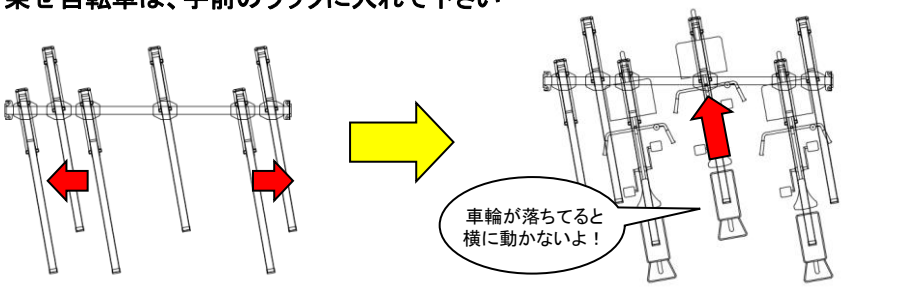
後ろチャイルドシート高さ：1150越は通路側対応が可能です

前入タイプ　《※駐輪時は上段のラックに注意してください》

下段ラックを左右に動かして
スペースを空けて下さい



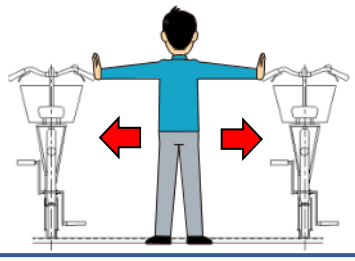
子乗せ自転車は、手前のラックに入れて下さい



自転車は確実にラックレールに乗せて下さい

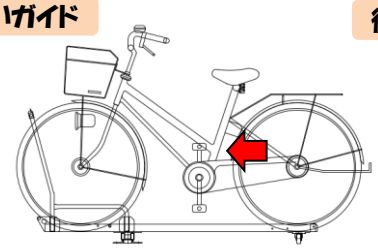
前後入タイプ　《※駐輪時は上段のラックに注意してください》

下段ラックを左右に動かして
スペースを空けて下さい

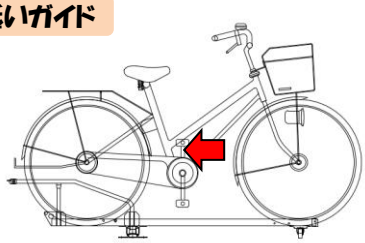


高いトップガイドのラックは、自転車を前から入れて下さい
低いトップガイドのラックは、自転車を後から入れて下さい

前入：高いガイド



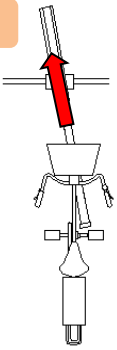
後入：低いガイド



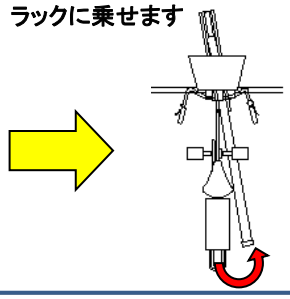
自転車の乗せ方

前入れの場合

①前輪をラック
にのせてから、
奥まで入れます

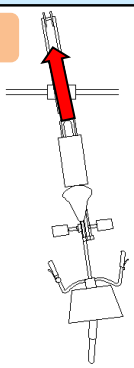


②前輪を奥まで入れた
後、後輪を持ち上げ、
ラックに乗せます

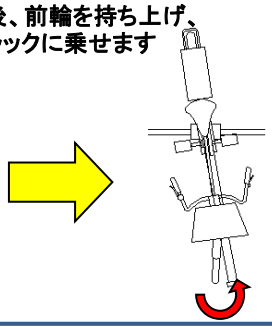


後入れの場合

①後輪をラック
にのせてから、
奥まで入れます



②後輪を奥まで入れた
後、前輪を持ち上げ、
ラックに乗せます

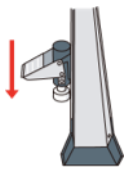


フットブレーキ：下段オプション

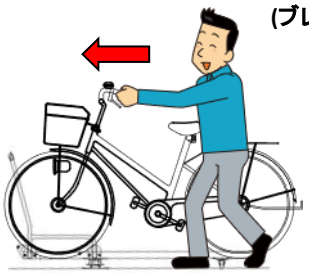
★ダブルキャスター装着時、Max40kgまで可

①自転車をのせる前に
ブレーキを踏んでください

ONの状態



②自転車を確実にラックにのせてください
(ブレーキは自動で解除されます)



OFFの状態

OSS 垂直2段式駐輪機　保証書

型式	ARS,ATG型	※ お買い上げ日	年　月　日	保証期間	お買い上げ日から　**1年間**
※お客様	ご住所	〒	TEL		
	お名前				様
※販社	ご住所 販売会社	〒	TEL		

本書は、保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にしたがって正しいご使用のもとで故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理を行うことをお約束するものです。

・無料修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

・お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、下記メーカーにご相談ください。

1. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   （1）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障及び損傷
   （2）お買い上げの後の取り付け場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
   （3）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、公害、塩害、ガス害などで生じた故障及び損傷
   （4）本書のご提示がない場合
   （5）本書に、お買い上げ日、お客様名、販売会社名の記入がない場合、あるいは字句をかきかえられた場合
   （6）ご使用によるキズ、変色、汚れ、及び保管上の不備による損傷
   （7）消耗部品の交換
2. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
3. 本書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

●お客様にご記入いただいた保証書（個人情報）は、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

●この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売会社または「下記メーカー」に、お問い合わせください。

株式会社OSS

〒485-0814　愛知県小牧市古雅4丁目58－2　TEL：0568-54-3808　FAX:0568-54-3812

販売会社様へ　※印欄は必ず記入してお渡し下さい。